

受験番号

国

語

(100点 60分)

(2025年度A-2)

注意事項

- 1 試験開始の指示があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 この問題冊子の表紙の受験番号欄に受験番号を書いてください。  
複数の受験番号がある場合、受験票に記載されているメイン受験番号を記入してください。
- 3 この問題冊子は表紙を除き、16ページです。
- 4 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を高く挙げて監督者に知らせてください。
- 5 解答用紙には解答欄以外に次の記入欄があるので、監督者の指示に従って、正しく記入してください。
  - ① 氏名欄 漢字氏名を記入してください。
  - ② 科目名欄 「国語」と記入してください。
  - ③ 受験番号欄 受験票に記載されているメイン受験番号を記入し、その下のマーク欄に、正しくマークしてください。
- 6 受験番号が正しく記入されていない場合は、採点されないことがあります。
- 7 解答は、解答用紙の解答マーク欄にマークしてください。

例えば 

20
----

 と表示のある問いに対して③と解答する場合は、次の(例)のように20の解答マーク欄の③にマークしてください。

(例)

解答マーク欄										
20	①	②	●	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

- 8 問題冊子の余白等は適宜利用してもかまいませんが、どのページも切り離してはいけません。
- 9 不正行為について
  - ① 不正行為に対しては厳正に対処します。
  - ② 不正行為に見えるような行為が見受けられた場合は、監督者が注意します。
  - ③ 不正行為を行った場合は、その時点で受験を取りやめさせ退室させます。

国

語

(  
解答  
番号

1

5

36

)

第1問 次の文章を読んで、後の問い(問1～問10)に答えなさい。

当たり前のことながら、私たちは政治学や法学などの専門的概念を使って、政治や社会などの出来事について日常的に話したりはしない。また、日常生活の話題は、ここまですが政治学、ここまですが社会学などと明確に区分けされている訳ではないし、**A** 的に日本に限定されている訳でもない。領域を超え(超越)、境界を跨いで(跨境)、言葉でつないでいくしかない。

フランスなどでは日常語が哲学用語でもあるため「哲学カフェ」が生活に溶け込んでいるのに対し、日本では哲学用語の多くが翻訳語であるためなかなか日常生活にはなじまないといわれたのは(事情は変わりつつあるが)、そうした日本人の言語生活のあり方とも係わっている。

今、「言語生活」という言葉を使ったが、それが新語として課題となったのもモダン語の時代においてであった。それは、日本語以外の言語を使う人々が統治下に置かれただけでなく、<sup>(注2)</sup> 第一次グローバルゼーションの時代になって外来語や新造語が日常生活の中にあふれ出たことによって、単に「国語生活」を前提にした国語教育や国語研究では対応できなくなったためでもあった。(1)

そのように、日本語による専門用語だけでなく、国内の異言語、外来語そして新語・流行語などが**コンセン**<sup>a</sup> 一体となって社会生活の諸事象について語られるようになった「言語生活」を思想史研究の対象としようとするなら、それに応じた方法や視角が必要となってくるはずである。

それには、一義的に確定された概念化や体系化を前提とした方法だけでは対応できないのではないだろうか。そもそも、時の流れとともに浮遊し、止まることなく変転していくのが新語・流行語の属性である以上、それを概念化・体系化して固定しようとするのは矛盾以外の何ものでもないはずだ。

加えて、概念化された言葉だけを「思想」とみなすという慣性<sup>3</sup>も再検討する必要がある。

新語・流行語などの平俗な日常語の中にも明確に意識や思想が込められている。(2)

<sup>(注3)</sup> 柳田国男は新語を造り・伝えることも民間文芸の一種とみなし、自前の思考を立ち上げる手がかりとなる言葉を「思い言葉」「考え言葉」と呼んだ。そして、大槻文彦は言葉を「人の思想を口に言出すもの。人の声の意味あるもの」(『言海』)と定義していたのである。(3)

そうした柳田や大槻の発想にも示唆を得て、私は社会で使われる日常語もすべて何らかの思想を含んだ民間文芸の言葉という意味で、「思詞」と呼んでみたい。さらに、言葉の字面は変わっていくにしても同じ意味をもつ言葉がどのように推移していったのか、あるいは全く違った意味合いの複数の言葉がどのようなつながりをもっているのか、などの「言葉の連鎖反応」を調べたいと思っている。

それは、輪にした糸を両手首や指に掛け替えていき、少し指の位置を変えるだけで全く違った形相が**トツジ**<sup>b</sup>として現れる「綾取り」の遊戯にも似ており、「文取り」と呼べるかもしれない。

それでは、その「思詞」を対象とする「思詞学」に固有の方法論とはいかなるものであり、それをどのように提示して共有したら良いのだろうか？

それに対する回答を出すにあたって思い出すのは、『忘れられた日本人』などの著作で知られる民俗学者・宮本常一(つねいち)の事歴である。宮本は、柳田国男とともにもう一人の師とした洪沢敬三(注5)から「学者ではなく発掘者になれ」と諭されたという。そして、五〇年にもわたって日本各地を訪ね歩き、膨大な調査記録や聞き書きなどを残した。しかし、発掘を重ねる中で農具を始めとした生活用具やその生産・使用の技術についての知識を深め、「民具学」と呼ばれる新たな研究領域を築いていった。宮本は、確かに発掘者となつて前人ミトウ(ミトウ)の事績を挙げたが、洪沢の意に反して学者にもなつたことになる。おそらく宮本は体系化した学問を創る学者になろうと意図することなく、発掘者・採集者であることによつて学者となつたのではなからうか。

ここで私がいつている学者とは、洪沢のいう机上の学者でも、「職業としての学問」を生業とする者という意味でもない。あくまでも生涯(わた)に亘つて「クセジユ Que sais-je? (私は何を知っているだろうか?)」と、問い続ける人のことである。このモンテーニュ『エッセー Les Essais』の中の言葉にこそ、「学ぶ」とは何か、「学ぶ者」とは何か、を知る手がかりがあるように私は思つてきた。もちろん、「私は何を知っているだろうか？」を知るためには、「知らない」ということを知る」しかない。「知らざるを知らずと為す、是知るなり」(「論語」「為政」)、「汝自身を知れ」「無知の知」など、古今東西いずれにおいてもこのことを教えてきたはずなのである。それでは、どうやって自らの無知を知るのか。

単純に、より多くの事象や器物や言葉などに接して、知と不知とを弁別していくしかない。実は、それこそが柳田や宮本などの民俗学者が採つた方法ではなかつたのか。(4)

そうした考え方の根底にある本質を捉え、しかも基礎的な向き合い方について、同じく民俗学者であり国文学者・歌人でもあつた折口信夫(おしかちのぶ)が端的に記した文章がある。

材料は多く集めなければならぬ。多くあつめると共に、その材料が学者の皮肉の間にしみこんでいなければならぬ。何かの時に一つの戸を開けば、それに関係ある事が連繫(れんけい)して出て来なければならぬ。それにはどうしても我々自身が体験し、実験して見なければならぬのである。

〔民俗学学習の基礎〕(『民俗学』第一巻五号、一九二九年一月)

私は、この言葉に従つて考えるのが思詞学の方法論だと、現時点では想定している。いや、より正確に書けば、方法論がないのが思詞学の方法論なのである。方法論がないから、あくまでも個人の趣味嗜好(しこう)によつて進める他(ほか)ないし、個人の言語体験や記憶をそこに加えることも必要だと思つている。本書で、個人的な記憶・体験や私企業・商品の名称などを書き込んだのもそのためである。

それは **B** 性を重視し、対象との距離を取ることが要請される人文・社会科学では、避けることが常識とされているものである。しかし、日常語を

対象とする思詞学では、自らの言語生活を顧みつつ、時代の刻印を遺しておくことも必要ではないか、と思う。

もちろん「思詞」は、生活という地平に根をもちながらも、必ずしも生活のリァリティーとは直結しない。変転する生活の中で **C** 的な意味も変容していくことに本質がある。「流行り物はスタリ物<sup>d</sup>」という俗諺<sup>ぞくげん</sup>は、流行語・新語にこそ当てはまる。そうであるとすれば、その **D** 性を跡づけることを目的とする思詞学もまた唯一の定型化された方法論に固定された途端に生命力を失うはずであり、不定形の自己流による言葉への対置の仕方をモサク<sup>e</sup>していくしかない。(5)

要するに、思詞学とは「浮遊する言葉を掴み取って、並べて、読んで、考えて、自分なりに関連づけて、いつでも連繫して引き出せるようにしておく」——ただ、それだけの作業をさす。

その作業はまた「言葉の遺産目録」として inventory を作成することでもある。inventory は「invent- (偶然見つけた、発見した) +ory (物)」から目録・一覧表やそれを作成することを意味するが、偶然に新たに発見された故人の財産目録をさすラテン語 inventarium に由来するとされる。

(山室信一『モダン語の世界へ——流行語で探る近現代』による)

(注1) モダン語 筆者は、一九一〇年代以降に海外、主として欧米から移入され、カタカナ表記された新語・流行語をモダン語と呼んでいる。

(注2) 第一次グローバリゼーションの時代 筆者は、一九一〇年から一九三九年までの三〇年間をこのように呼んでいる。日本では、明治末から太平洋戦争に突入するまでの期間となる。本文中の「帝国」とはその当時の「大日本帝国」を指す。

(注3) 柳田国男 一八七五—一九六二。近代日本の民俗学の創始者とされる。

(注4) 大槻文彦 一八四七—一九二八。国語学者。『言海』は文部省の命を受けて彼が編纂した国語辞書。後に増補・改訂されて『大言海』となる。

(注5) 渋沢敬三 一八九六—一九六三。実業家で民俗学者。日本銀行総裁、蔵相も務め、日本常民文化研究所を設立し、民俗学の振興に尽力した。

(注6) モンテーニュ 一五三三—一五九二。フランスの思想家。『エッセー』は彼の名著。

問1 傍線部 a) e) のカタカナにあたる漢字と同じ漢字を含むものを、各群の①～⑤のうちからそれぞれ一つずつ選びなさい。

【解答番号】

1

5

a コンゼン

1

- ① 何かコンタンがありそうだ。
- ② ツウコンのきわみだ。
- ③ 犯行のコンセキを探す。
- ④ 不純物がコンニユウする。
- ⑤ 荒れ地をカイコンする。

b トツジヨ

2

- ① 害虫をクジヨする。
- ② 通学路ではジヨコウ運転をする。
- ③ 誰ともジヨサイなくつきあう。
- ④ ナイジヨの功。
- ⑤ ジヨジョウ詩を作る。

c ミトウ

3

- ① トトウを組む。
- ② アイトウの意を表する。
- ③ 大工のトウリヨウになる。
- ④ 物価がコウトウする。
- ⑤ 先例をトウシユウする。

d スタリ物

4

- ① 規制をテツパイする。
- ② ハイゴから忍び寄る。
- ③ 喜劇ハイユウを志す。
- ④ 神社にサンパイする。
- ⑤ 勝利のシユクハイをあげる。

e モサク

5

- ① 試行サクゴをくり返す。
- ② 人名サクインで調べる。
- ③ 不当なサクシユを告発する。
- ④ タイサクを講じる。
- ⑤ 予算をサクゲンする。

問2 空欄 A、D を補うのに最も適当な語を、次の①～⑤のうちからそれぞれ一つずつ選びなさい。(同じ番号を二度以上選んではいけません。)

〔解答番号 A 〓 6、B 〓 7、C 〓 8、D 〓 9〕

- ① 流動
- ② 空間
- ③ 客観
- ④ 専門
- ⑤ 思想

問3 傍線部1「『言語生活』という言葉」に関する説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。〔解答番号 10〕

- ① 日常生活にはなじまないと言われていた翻訳語が日常的に使われるようになり、伝統的な国語教育では対応できなくなって登場した言葉である。
- ② 日本人の社会生活の諸事象が外来語や新語・流行語で語られる機会が増え、既成の国語研究では対応できなくなって生み出された言葉である。
- ③ 一義的に確定された概念化や体系化を前提にした方法では対応できない日本人の生活を、思想史研究の対象にするために作られた言葉である。
- ④ 日本人の日常語の中に国語以外の外来語や新造語が多く流入するようになった結果として、「国語生活」に代わって登場した言葉である。
- ⑤ 新語・流行語などの平俗な日常語に込められた意識や思想を研究対象とする必要に迫られた結果として、新たに生み出された言葉である。

問4 傍線部2「変転」と熟語の構成が同じものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。〔解答番号 11〕

- ① 無我
- ② 因果
- ③ 裝飾
- ④ 既成
- ⑤ 献身

問5 傍線部3「慣性」という言葉が使われている理由の説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。〔解答番号 12〕

- ① 真か偽かを判定する基準がないので放置され続けてきた命題であるから。
- ② これまで疑われることもなく常識とされてきた通念であるから。
- ③ 権威ある学者が定めたものなので従うしかなかった考え方であるから。
- ④ 批判しなければ今後も人々を束縛することになる規定であるから。
- ⑤ 昔から人々が慣れ親しんできた穏当な判断基準であるから。

問 6 傍線部 4 「柳田国男」の著作を、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。〔解答番号 13〕

- ① 遠野物語
- ② 武蔵野
- ③ 暗夜行路
- ④ あめりか物語
- ⑤ 五重塔

問 7 傍線部 5 「『文取り』」とはどのようなことですか。その説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。〔解答番号 14〕

- ① 何らかの思想を含んでいる日常語を民間文芸の一種と見なし、それを手がかりとして自前の思考を立ち上げること
- ② 柳田国男が「思ひ言葉」「考へ言葉」と呼んだ日常語を、色々な形に組み合わせて思想を組み上げていくこと
- ③ 新語・流行語などの平俗な日常語を概念化、体系化することによって、そこから明確な意識や思想を取り出すこと
- ④ 複数の言葉の意味の共通点や相違点に着目し、言葉の連鎖反応を観察することによって思詞学を成り立たせること
- ⑤ 字面が違っても意味が同じ言葉の推移や、意味が全く違う言葉同士のつながりを、色々な角度から観察すること

問 8 傍線部 6 「渋沢の意に反して学者にもなった」とはどういうことですか。その説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。〔解答番号 15〕

- ① 宮本常一が、渋沢敬三が期待したような発掘者にはならず、民具学という新たな学問の道を開いたということ
- ② 宮本常一は、渋沢敬三のような職業的な学者にはならず、民俗学者として知と不知を弁別し続けたということ
- ③ 宮本常一がひたすら発掘に専念することで、発掘者は学者ではないという渋沢敬三の考えを覆したということ
- ④ 宮本常一は、渋沢敬三のいう机上の学者にはならなかったが、知の発掘・採集者という意味での学者になったということ
- ⑤ 宮本常一は、渋沢敬三の教えどおり学者ではなく発掘者になったが、その業績が後に学問的に評価されたということ

問9

本文から次の文が抜け落ちています。どこに戻すのが最も適当ですか。後群の①～⑥のうちから一つ選びなさい。〔解答番号

16

ただ、それを思想の言葉として扱う方法がなかっただけではないのか。

- ① ( 1 )      ② ( 2 )      ③ ( 3 )      ④ ( 4 )      ⑤ ( 5 )

問10

本文の内容と合致するものを、次の①～⑥のうちから二つ選びなさい。(解答の順序は問いません。〔解答番号

17

18

- ① 翻訳語である哲学用語と日常語が全く別の体系に属している日本では、優れた哲学思想が生まれてこない。  
② 「国語生活」は思想史研究の対象にはならないので、それに代わるものとして「言語生活」という概念が登場した。  
③ 柳田国男や大槻文彦は、時の流れとともに浮遊、変転していく民間文芸を後世に残すために民俗学を立ち上げた。  
④ 筆者が宮本常一を学者と呼ぶ理由は、モンテーニュの『エッセー』の中の「クセジュ」という言葉にある。  
⑤ 思詞学は、自分の言語生活を顧みながら個人の趣味嗜好で進められるので、既成の人文・社会科学の枠に収まらない。  
⑥ 日本の思詞学の創始者である折口信夫は、自身の体験や実験から多くの材料を集めるといふ方法論を開拓した。

第2問 次の文章を読んで、後の問い(問1～問10)に答えなさい。

私が、「カッコいい」という言葉のふしぎさを思い知ったのは、大学時代のこんな「事件」がきっかけだった。

一九九七年、私は大学の近くのバーで、バーテンダーのアルバイトをしていた。

その日も、カウンターに座っていたサラリーマン風の男性客二人が、仲良くほろ酔い加減で談笑していた。何の変哲もない風景だった。そのうちに、いつの間にか、プロボクサーの辰吉丈一郎に話題が及んだ。

辰吉は、九一年に、当時最速のデビュー八戦目でWBC世界バンタム級チャンピオンとなったカリスマ的ボクサーだった。(イ)、その直後に、不幸にも「網膜裂孔」が発覚。手術によって回復はしたものの、離脱中に暫定チャンピオンの座についていたメキシコのビクトル・ラバナレスと王座統一戦を行い、敗北を( )してしまふ。

その後、再起戦で勝利し、更にラバナレスとの再戦で雪辱を果たして暫定チャンピオンとなるも、今度は「網膜剝離」が発覚し、タイトルの返上を迫られる。日本ボクシングコミッション(JBC)は、ルールによりそのライセンスの発行を停止し、辰吉は国内での試合が出来なくなってしまう。

とは言え、医学の進歩を受けて、アメリカを初めとする海外では、当時既に「網膜剝離」の治癒後の復帰を認めている国もあり、ボクシング・ファンの間では( )の議論が巻き起こった。

辰吉は結局、九四年に、JBC管轄外のハワイでカンバック戦を行い、メキシコの強豪に見事KOで勝利する。こうなると、ファンもいよいよヒートアップし、JBCは、対戦が熱望されていたバンタム級チャンピオンの薬師寺保栄との王座統一戦に限り、「特例」として国内での試合を許可するに至った。(ロ)、「網膜剝離の再発、もしくは一試合でも負ければ即引退」という厳しい条件が付されていた。そして、同年末に実現したこの試合で、辰吉は、壮絶なフルラウンドの死闘の末、敗北する。

この辺りまでは、ファンも多くが辰吉を支持していた。しかし、この試合でやりきったと思われていた彼は、意外にもJBCが提示していた条件に従わず、再び引退を拒否して、翌年ラスベガスで二試合を行い、いずれも勝利する。対処に困ったJBCは、なし崩しに、「医師の診断があれば、世界戦に限り彼の国内での試合を許可する」という決定を下したが、この再三の「特例」は、物議を醸すこととなった。

一九九六年から九八年にかけては、二階級制覇を目指し、WBC世界ジュニア・フェザー級(現・スーパーバンタム級)王者ダニエル・サラゴサに挑戦するが、いずれも惨敗。しかし、辰吉はここでも現役続行を表明することとなる。……

話を戻すと、京都のバーで、酔っ払った二人が話題にしていたのは、こうした経緯だった。

私の向かいで飲んでいた男性の一人は、ボロボロになっても、JBCから何度引退勧告を受けても、好きなボクシングを続けようとする辰吉こそは、

「男の中の男」だ、「カッコいい」と熱心に語っていた。

ところが、一緒に飲んでいたもう一方の男性は、それにまったく否定的だった。

幾ら不満とは言え、ルールはルールであり、それを守らないのは間違っているし、何事もやはり散り際が大事で、無様に醜態を晒す辰吉は、「カッコ悪い」というのが、彼の意見だった。

私は、グラスを拭きながら、その会話には参加せず黙って聞いていた。どちらの言い分もわからないではないし、ある意味では、「生き様」を巡る古典的な価値観の対立とも言える。

しかし、「カッコ悪い」と言われた方は、最初こそ、「いやいや、カッコええやろ？」と笑いに紛らせつつ反論していたが、相手も引かないので、会話は見る見るうちに険悪になっていった。やがてカウンターを叩きながらの怒鳴り合いになり、到頭、つかみ合いの大ゲンカ（！）になってしまった。

私は、その辺りでさすがに止めに入ったが、それにしても、この一夜のことは、私の中に強烈な印象として残ることとなった。

あの二人は、一体なぜ、あそこまでアツくなってしまったのか？

（ハ）、ただの酔っ払いのケンカだと言えばそれまでだが、特に辰吉を「カッコいい」と惚れ抜いていた男性は、もうあの友人とは、二度と仲直り出来ないのであるかというほど感情的になっていた。

それはまるで、自分自身を「カッコ悪い」と罵られたかのような腹の立てようで、気楽に言っただけの相手の方も、怒ってはいたが、些か呆れ気味だった。

（ニ）、辰吉はこの年の十一月、五度目の世界挑戦で三度目の世界王者に返り咲いている。もし二人の友人関係がまだ続いていたら、鬼の首を取ったように「ほら、見ろ！」とまたこのケンカが蒸し返されたかもしれない。

一体、「カッコいい」という概念は、浅いのか、深いのか？

今日に至るまで、この言葉がマトモな扱いを受けてこなかったのは、明らかに、その意味内容が軽んぜられていたからである。（中略）

しかし、一方で、何を「カッコいい」と思うかという判断には、個人のアイデンティティと深く結びついた意味がある。人からそれを馬鹿にされると頭に来るし、傷つきもする。

他人のことはとやかく言えても、反対に、「じゃあ、オマエにとつての『カッコいい』人って誰なんだよ!？」と迫られると、一瞬、返答に躊躇する。

必ずしも自信がないわけではなくても、相手に通じないのではないか、と思うからである。そして、勇を（？）して答えてみて、「ハア？ ダッサ。」などと切り捨てられようものなら、そこからまた血の雨が降ることだろう。……

かく言う私は、昔からマイルス・デイヴィスのファンで、「カッコいい」人という時には、やはりすぐに頭に思い浮かぶ人の一人である。

しかし、同じマイルス・ファンだとしても、必ずしも油断は出来ない。いつの頃の、どういふところが「カッコいい」のかという、更に細かな話があるからである。

辰吉を巡るバーでのケンカを他人事のように書いたが、私自身、その後、八〇年代のマイルス・デイヴィスをどう思うか、という話を某氏として、「あんなん、どこがカッコええの？ ギラツギラの演歌歌手みたいな服装で、めっちゃカッコ悪いわ。」と言われ、首を絞めたくなるほど（！）ムカついたことがある。マイルスは、そのキャリアを通じて、音楽のスタイルもファクションも随分と変化しているが、私は基本的にその全部が好きなのである。

勿論、シラフの私は、相手に掴みかかったりはしなかったが、しかし、正直に告白すると、未だにその一言を根に持っていて、私の中でその人は、音楽やファクションのセンスのみならず、何から何まで「完全にダメな人」という極端な烙印が捺されてしまっている（そういうわけで、私と良好な関係を維持したい人は、ご注意を……）。

趣味の世界では、同じファン同士でも、自分の方がより詳しいし、より熱烈なファンだというゲンナリするような「マウン」の取り合いがあるが、客観的に振り返れば、マイルスの中でも評価の分かれる時期であり、やっぱりマイルスは4ビートの時代が良かった、というのは、ある意味、平凡な意見である。

しかし、面と向かって「カッコ悪い」と宣告されたショックは、容易に消えるものではない。（ホ）それは、私が「カッコ悪い」と侮辱されたわけではなく、私が「カッコいい」と思う人が「カッコ悪い」と言われたに過ぎないのである。

こうしたことは、大なり小なり、恐らく多くの人が、人生のどこかで経験しているに違いない。

（平野啓一郎『カッコいい』とは何か』による）

（注1）マイルス・デイヴィス1926～1991年。アメリカのジャズトランペット奏者、作曲家、編曲家。ジャズの巨人の一人。時代に応じて、クール・ジャズ、ハード・バップ、エレクトリック・ジャズなど、さまざまな音楽性を見せ、ジャズ界を牽引した。

（注2）マウント相手よりも自分の方が優位だと見せつけるような言動。

問1 傍線部 a～j の漢字の読みが間違っているものを、各群の①～⑤のうちからそれぞれ一つずつ選びなさい。〔解答番号 i Ⅱ

19、

ii Ⅱ

20

〕

i ① a 暫定(ざんてい) ② b 雪辱(せつじょく) ③ c 剝離(はくり)

④ d 制覇(せいぱ) ⑤ e 無様(むよう)

ii ① f 醜態(しゅうたい) ② g 險悪(けんあく) ③ h 到頭(とうとう)

④ i 面罵(めんぼう) ⑤ j 侮辱(ぶじょく)

問2 空欄(イ)～(ホ)を補う語として最も適当なものを、次の①～⑤のうちからそれぞれ一つずつ選びなさい。(同じ番号を二度以上選んではいけません。)[解答番号 i Ⅱ

21、

ロ Ⅱ

22、

ハ Ⅱ

23、

ニ Ⅱ

24、

ホ Ⅱ

25

① しかも

② ただし

③ 勿論もちろん

④ しかし

⑤ 因みにちな

⑥ だから

問3 傍線部 I 「カッコいい」という言葉のふしぎさとはどういうことですか。最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

〔解答番号

26

〕

① 「カッコいい」という言葉は、一見平易な言葉に見えて、実際には深い意味を秘めているということ

② 「カッコいい」という言葉は、人々の間に深刻な感情的対立を引き起こす要因になりうるということ

③ 「カッコいい」という言葉は、その意味内容の軽さに反して、大人でもしばしば使っているということ

④ 「カッコいい」という言葉は、友人同士を仲違いさせてしまうような不吉な言葉であるということ

⑤ 「カッコいい」という言葉は、褒め言葉であるように見えて、実はけなす言葉でもあるということ

問4 波線部Ⅰ「変哲もない」、Ⅲ「物議を醸す」の意味として最も適当なものを、各群の①～⑤のうちからそれぞれ一つずつ選びなさい。

〔解答番号 Ⅰ Ⅱ 27、Ⅲ Ⅳ 28〕

Ⅰ 「変哲もない」 ① つまらない

② ひそやかな

③ ありふれた

④ 殺風景な

⑤ 穏やかな

Ⅲ 「物議を醸す」

① 討議がさまたげられる

② 議題として取り上げる

③ 当局によって審議される

④ 激しい抗議が巻き起こる

⑤ 世間の論議を引き起こす

問5 波線部Ⅱ「敗北を（ ）してしまう」、Ⅳ「勇を（ ）して」の空欄（ ）を補うのに最も適当な漢字を、次の①～⑦のうちからそれぞれ一つずつ

選びなさい。〔解答番号 Ⅱ Ⅲ 29、Ⅳ Ⅴ 30〕

- ① 免 ② 制 ③ 鼓 ④ 表 ⑤ 奏 ⑥ 喫 ⑦ 窮

問6 傍線部2「（ ）の議論が巻き起こった」の空欄（ ）を補うのに最も適当な四字熟語を、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

〔解答番号 31〕

- ① 唯々諾々 いいだくだく ② 侃侃諤々 かんかんがく ③ 津々浦々 ④ 奇々怪々 ⑤ 虚々実々

問7 傍線部3「その会話には参加せずに黙って聞いていた」とありますが、筆者がこのような行動をとった理由の説明として誤っているものを、次の

①～⑤のうちから一つ選びなさい。〔解答番号 32〕

- ① 二人の酔客が話題にしていることにはさほど興味がなかったから。
- ② 辰吉がカッコいいか、カッコ悪いかを決めるのは容易でないから。
- ③ 二人の酔客のどちらの言い分にも、それなりに道理があるから。
- ④ バーターンダーが酔客同士の会話に割り込むべきではないと思ったから。
- ⑤ 二人の酔客の会話がこの後どう展開してくのか見守ろうと思ったから。

問8 傍線部4「鬼の首を取ったように」を用いた短文として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。〔解答番号 33〕

- ① たまたまテストで百点取った息子は、鬼の首を取ったように自慢している。
- ② 娘はお気に入りの人形が汚れてしまって、鬼の首を取ったように号泣した。
- ③ 国際コンクールで優勝した彼女は、鬼の首を取ったように狂喜している。
- ④ 三日間ずっと雨が降り続いた後、鬼の首を取ったようにすっきり晴れ渡った。
- ⑤ 夫は自分の初孫が誕生したと聞いて、鬼の首を取ったようにたいそう喜んだ。

問9

傍線部5「個人のアイデンティティと深く結びついた意味がある」とありますが、「カッコいい」が「個人のアイデンティティと深く結びつく」のはなぜですか。その理由として最も適当なものを、後群の①～⑥のうちから一つ選びなさい。なお「アイデンティティ」については次の各辞典の説明を参考にしなさい。〔解答番号 34 〕

「他とはつきりと区別される、一人の人間の個性。また、自分がそのような独自性を持った、ほかならぬ自分であるという確信。組織、集団、民族などにも用いる。自己同一性。」(『精選版 日本国語大辞典』)

「人格における同一性。ある人の一貫性が成り立ち、それが時間的・空間的に他者や共同体にも認められていること。自己同一性。同一性。主体性。」(『広辞苑』第四版)

「自己同一性。自分という存在の独自性についての自覚。」(『新明解国語辞典』第五版)

- ① 何かを「カッコいい」と表明するのは、実は自分自身がカッコ悪いことを暗に認めており、自分という存在に対する劣等感の表れであるから。
- ② 何を「カッコいい」と思うかの判断は個人や組織や民族などの違いによって異なるのが普通であり、意見の一致をみるのは非常に難しいから。
- ③ 何かを「カッコいい」と言っ、もし他人にそれを「カッコ悪い」と否定されでもしたら、自分の好みや考えを否定されたような気分になるから。
- ④ 何を「カッコいい」と思うかは自分の勝手であり、自分の人格や個性や主体性と同じく、他人にとやかく言われる筋合いのものではないから。
- ⑤ 何かを「カッコいい」と思うのは、それが自分にとっての憧れの対象であると同時に、自分自身の人格とも深く関わるようなものであるから。

問10

本文を読んだA～F六人の生徒が感想を述べ合いました。このうち「カッコいい」についての筆者の考えと明らかに合致しないものを、次の①～

⑥のうちから二つ選びなさい。(解答の順序は問いません。)

35

36

- ① A カッコいいと言えば、ぼくは大リーグで活躍している大谷翔平選手を第一にあげたいなあ。全身全霊をあげて応援しているよ。
- ② B うん、まったく同感だ。もちろん個人の感想だから、大谷選手がカッコいいとは思わない人がいても不思議はないけどね。
- ③ C ええ？ そんな人がいるかなあ。でも要は、大谷選手個人のアイデンティティの問題だから、他の人がどう思おうと構わない。
- ④ D 要するに、カッコいいかどうかは理屈じゃないし、また多数決で決めるようなものでもなく、あくまでも個人の判断だよ。
- ⑤ E スポーツカーに乗るのがカッコいいのか、エコカーに乗るのがカッコいいのか、それも他人が決めることじゃないよね。
- ⑥ F ただ、自分がカッコいいと思う人をけなされたからといって、むきになったり腹を立てたりするのは大人げないけどね。